

今日の話題は6月30日の情報25号と同じ国民投票法に関する憲法審査会のゴタゴタを取り上げています。それも7月3日は野党の審議入り反対で進展なし、7月9日は趣旨説明が3分20秒で終わった旨を嘆いています。これだけでもまた12日無駄にしています。

立法府がこんな調子で一向に国民投票に関する簡単な打ち合わせさえ出来ないことを日本会議のメール情報は会員に知らせています。6月には野党6党は6党全部が組んで一斉に19日間の休暇をとり、国会審議をさぼって国会を止めました。これら国民投票に関する審査について、何かいちゃもんをつけて審議の引き延ばしを計っているのです。

これが日本の国会であり、国会議員がしていることです。日本の国会議員は、外国との関係は重視せず、国内問題だけしか分からないらしく、モリカケ問題など一年半にわたってあーでないこうでないと弄くり廻しています。法律を作る立法府が裁判ごっこをやっていて、新聞が面白おかしく報道し、テレビがそれに輪を掛けて騒いでいるのです。それもアメリカ、中国、北朝鮮、韓国等夫々が大問題を抱え、貿易戦争も既に始まっていますし、防衛問題も煙が立ち始めています。

国民から顰蹙をかい、不安に陥れても、「安倍首相が居る限りは憲法改正には応じられない」と国家を忘れた暴言を吐きながら、国会内でテロを続ける野党は、自己破産寸前の模様ですが、それに対して為す術もない自民党の姿は、哀れです。情けないを通りこしている様思えます。まず、メール情報1696号と1697号を読んで下さい。

「日本会議メール情報」 平成30年7月3日(火) 通巻第1696号
[憲法] 国民投票法、憲法審に付託も立憲は審議入りに反対

日本会議事務総局 担当 村主真人

衆議院議院運営委員会は2日、自民、公明、維新、希望4党が共同提出した「国民投票法改正案」を憲法審査会に付託することを決めました。

憲法審査会は5日に開かれ、法案の趣旨説明が行われます。

3日の新聞各紙は、立憲民主党が法案の趣旨説明までは同意したものの、「趣旨説明までしかやらせない」として、質疑や採決には応じない構えを崩していないと報道されています。

衆議院の憲法審査会は木曜日の開催が定例日とされ、5日を過ぎると次の開催が12日となり、参議院での審議が窮屈になります。

これは22日の会期末をにらんで、自民党が3月に纏めた改正条文案たたき台の自由討議を行わない立憲民主党の引き伸ばし戦術といえるでしょう。

「日本会議メール情報」 平成30年7月9日(月) 通巻第1697号
[憲法] 国民投票法改正案の趣旨説明、3分20秒で審査会を終了

日本会議事務総局 担当 村主真人

自民、公明、維新、希望が共同提出した国民投票法改正案について、7月5日、衆議院の憲法審査会で趣旨説明が行われました。

提出者として、自民党の細田博之議員(自民党憲法改正推進本部長)が法案の趣旨説明を行いました。立憲民主党などが実質審議に反対し、憲法審査会は、細田議員による改正7項目についての趣旨説明を3分20秒行って終了しました。

自民党は審査会の前に開かれた幹事会で、実質審議を12日に行うことを提案しましたが、立憲民主などが反対し、折り合いがついていません。

国民投票法改正に関して、立憲民主の長妻昭議員はCM規制がなされない点を問題視し、「欠陥だらけの内容のまま議論が打ち止めになるのは容認できない」とし、国民民主の大塚共同代表

もCM規制の必要性を記者会見で語りました。 共産党の志位委員長は、「憲法改正の機運を醸成しようとするもので、よこしまな思惑だ」と廃案を求めました。

こうした、野党側の丁寧な審議を求めると言う一方で実質審議には反対する動きに、中谷元議員は「止めているのは立憲民主党の辻元清美対委員長だ。利便性を追求したごく当たり前の法案でさえ国会で足止めを食らっている」（6月の講演）と不満を露わにしました。

また、細田博之議員は、5日の細田派会合で「野党が憲法の審議を前進させないかのように対応しているのは残念だ」「来る（臨時）国会で審議を深める」と強調しましたが、先行きは見通せません。 自公は、22日に会期末を迎えることから、臨時国会に向けて継続審査とすることも見据えています。

このように国会は混沌としておりますが、それは野次馬以下の野党6党がそれぞれの党を纏めきれない成り上がり党首の貧弱な考えから来ているように思います。各野党は党是ももたず、党略も策定しないまま、また野党同士の方向性さえ確認しないまま、それぞれに勝手な動きをするのですから、もう支離滅裂の状態になっているようです。右往左往するばかりで、外交に強く経済面でしっかり実績を積み上げている安倍政権に立ち向かうのですから、それなりに大変なことであろうとは思いますが。テロまがいの暴力に発展しても仕方がないかもしれませんが、立憲を言いながら、現状に合わない憲法を護るだけで修正もしないことは、立法府の人間として国民は許さないでしょう。もう少しましにならないと、次の選挙では確実に落選するでしょうね。

それにしても2/3の衆議院議員を擁する自民党のこの弱さは一体どうしたことでしょう野党の言いなりになっていては、日本国を立ち上がらすことも出来ないのではないかと心配になります。9月に自民党内で時期党首選挙があるため、自民党内の派閥問題を刺激しないための配慮があるのかもしれませんが。3期目の党首選で勝利すると、更に3年の任期が加わり、合計で9年の長期政権になります。既にしてG-7の中でも最高の指導者と言われていますが、野党はなぜかその政権を潰すことを最大の目標にしていると言います。

日本を良くすることより、彼らは、日本は悪い国であり、天皇制など不要とし、国家に権力者はいらぬとか、共産主義国家が理想であるとか、現体制の素晴らしさを見ようともせず、日本国を彼らの考える理想国にしたいと考えているのでしょう。日本国が如何に立派で、国民の民度が高く、自由で経済的にも優秀な国家になっているかさえ知らずともしてない様に思います。海外からみる日本は、本当に素晴らしい国になってます。気候が良く平和でどこも美しく神々が喜んで住んでくださる場所になってます。

国民が一致団結して、世界の見本となるように頑張ってもらいたいものです。それが今、日本が世界に対して出来る最高の貢献ではないかと思えます。 以上

徳力啓三

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」も協力している、改憲チャンネル制作委員会からのお知らせです。毎週、週のはじめに新しい動画をアップしています。ご視聴、ご活用をよろしくお願いいたします。

★おすすめ動画★

▼「織田邦男氏に聞く憲法改正と自衛隊～ノーカット版」<https://youtu.be/04nQa-Oqiec>

▼改憲キャッチ動画「YES！憲法改正～高須クリニック院長」<https://youtu.be/pVTxVEhV9u4>

▼これまで公開の全動画は、<https://www.youtube.com/channel/UCRpEQ11uCPjz2Nk15oKO6tA/videos>

★ぜひ Youtube のチャンネル「登録」を！<https://www.youtube.com/channel/UCRpEQ11uCPjz2Nk15oKO6tA>

★Facebook の「フォロー」「いいね」で情報拡散をご協力ください <https://www.facebook.com/kaikenCH/>

改憲チャンネル制作委員会 サイト <https://www.kaiken-ch.com/> お問い合わせ info@kaiken-ch.com